

## PRESS RELEASE

2036年5月31日  
報道関係各位

株式会社COCOHAETE

# 荷造り不要の旅が、要介護世代の「諦めていた旅」を年間300万件 解放した10年

～「BitBaggage-Neo」が拓いた、高齢者・要介護世代の新しい旅市場 ～

株式会社COCOHAETE（本社：岩手県盛岡市、代表取締役：佐羽根博一）が展開する「BitBaggage-Neo」は、宮沢賢治が夢見た理想郷（イーハトーブ）の精神を現代のテクノロジーで受け継ぎ、**身体的な制約が『旅の諦め』にならない世界を**、ここ盛岡から発信します。2036年、国内外の旅行者の85%が利用する世界共通の手荷物インフラを確立しました。かつて旅行準備に不可欠だった「物理的な荷造り」は、デジタル管理の「クラウド・トランク」へ移行し、準備時間は平均2時間から0分へと短縮されました。荷造り不要の旅は、若者・カップル・子育て世代・シニア、あらゆる世代の旅のスタイルを変え、もっと気軽に旅行できる社会を実現しました。

そのなかでも、これまで市場として存在しなかった領域に、最も大きな変化が生まれました。「要介護世代の旅市場」です。体力的・物理的な制約で旅行を諦めていた高齢者層に、年間300万件の外出機会が創出され、「家族で温泉に行きたい」という願いが実現できる社会へと変わりました。



2036年の東京駅。混雑するエスカレーターで、30代の夫婦が子どもの手をしっかりと握り、笑顔を交わしている。かつて子連れ旅行の必需品だった巨大なスーツケースは彼らの手にはない。両手が空いたことで生まれた「移動の安全」と「家族の心のゆとり」。10年前には当たり前だった、荷物と混雑に縛られる旅の風景は、今、日本の都市から消えつつある。

## 背景：スーツケースに縛られていた旅の風景

---

2026年時点、旅行者は重いスーツケースの運搬や荷造りに時間を費やしていた。宿泊施設では、チェックイン前後の荷物預かりがスタッフの大きな業務負担となり、ロビーのスペース圧迫や放置荷物の処分コストが経営課題となっていた。観光地においても、大型荷物による公共交通機関の混雑、いわゆるオーバーツーリズムによる地域住民との摩擦が表面化していた。

## 取り組み：アジャストパス（個別最適型移動インフラ）によるバリアフリーのデジタル化

---

① デジタル・アジャスト機能：準備と手荷物の解消 個人の身体状況や必要なケア備品をデータ化し、旅先の環境へ即座に適合させる仕組み「アジャストパス」を導入しました。ユーザーは、スマートフォン上で現地の天候や本人の状態に合わせた最適なウェアや衛生用品を選択します。これにより、かつて数時間を要した物理的な荷造りは0分となり、手荷物保持時間は100%削減されました。これは単なる配送ではなく、世界中の宿泊施設を『自分専用のクローゼット』へと変える、移動の制約の解放です。

② ホスピタリティの解放：宿泊施設のユニバーサル対応力の向上 アジャストパスの導入により、宿泊施設側はフロントでの荷物預かり・配送業務から90%解放されました。かつて業務の大半を占めていた「荷物管理」という作業が消失したことで、スタッフは車椅子利用者の介助や個別ニーズへの対応といった、本来のホスピタリティ業務にリソースを全投下できる体制を確立しました。この創出された「時間」と「空間」の余白こそが、要介護層への手厚い接遇を可能にするインフラの正体です。

## 諦められていた「家族の旅」の創出：親孝行旅が年間300万件突破

---

アジャストパスによる物理的な制約の解消により、**潜在的な3兆円市場と言われるユニバーサルツーリズム市場に広げ**、要介護認定者の家族旅行参加率は2026年の3.2%から38.7%へと上昇しました。かつて「荷物の重さと受入への不安」を理由に断念されていた外出機会が年間300万件創出され、旅行が「最高の心のリハビリ」として社会に定着しました。

宿泊施設側では、ロビー面積の30%を占拠していた荷物保管スペースが消失し、現在は車椅子利用者も自由に交流できる「ユニバーサル・ラウンジ」へと転換されています。有効面積が1.5倍に拡大したことで、移動の摩擦が消え、高齢層の滞在満足度が飛躍的に向上しました。

移動中に大荷物を保持する時間は100%削減され、代わりに「駅の改札やエスカレーターで、子供や親の手をしっかり握れる日常」が創出されました。盛岡から始まったこの「手ぶら旅」の文化は、現在2,000万人の世界標準となり、衣類輸送の最適化を通じてCO2排出量を従来比30%削減するという環境価値も同時に達成しています。

## 代表コメント（佐羽根博一 代表取締役）

---

「荷物が重いから、旅に行けない」。闘病中の母が漏らしたその一言が、私の原点です。旅行業界に身を置きながら、家族の願いすら叶えられなかった悔しさが、私を突き動かしてきました。

この10年、岩手の土を耕すように泥臭く歩む中で貫いてきた信念は、「物理的な制約をデジタルで解かし、移動する人の心を晴れやかにする」ことです。この想いがあったからこそ、日本から「旅行にはスーツケース」という常識を消し、手ぶら旅の文化を創ることができました。

私たちの挑戦はここから世界へ広がります。次の10年、私たちの仕組みは世界200都市・年間3,000万人の移動を支える『地球の共通インフラ』となります。盛岡から世界各国へ、スマホ一つで旅立ち、現地で自分専用のクローゼットを受け取る。このシームレスな移動は、衣類輸送の負荷を30%削減するという環境価値創出にも挑戦していきます。

「顔をいつも太陽のほうに向けよう」。誰もが思い立った瞬間に世界中を身軽に飛び回り、心晴れやかな旅を楽しめる未来を、これからも情熱を持って創り続けます。

## 会社概要

---

会社名：株式会社COCOHARETE

代表者：佐羽根 博一

所在地：岩手県盛岡市大通三丁目6-12 開運橋センタービル3階

設立：2021年6月15日

事業内容：手荷物負担軽減プラットフォーム「BitBaggage-Neo」の運営